



2026 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証プライム市場)
問合せ先 取締役コーポレートコミュニケーション室長
田中 直子(TEL 03-6757-4584)

株主還元方針の変更（D0E 目標及び総還元性向目標の引き上げ）及び 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 29 日開催の取締役会において、株主還元の一層の強化を目的とし、下記のとおり株主還元方針を変更すること及び当該株主還元方針に変更に伴い 2026 年 12 月期の 1 株当たりの期末配当金を修正することを、それぞれ決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更

(1) 変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、業績及び将来の事業展開に必要な投資とのバランスを勘案しながら、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るとともに、継続的かつ安定的な株主還元を行うことを基本方針としております。

この方針のもと、2024 年 11 月 7 日に発表した「中期経営計画 2028」においては、D0E 目標を導入するとともに、配当に加えて自己株式取得を機動的に実施し、本計画期間の 5 年間合計で総還元性向 30%以上を目指すことといたしました。

「中期経営計画 2028」策定当初は、事業環境の不確実性を考慮し慎重に捉えていたことに加え、それまでの利益水準が現在と比較して相対的に低い状況にあったことから、D0E および総還元性向の目標を、一定程度保守的な水準に設定しておりました。

その後、継続的な利益創出により利益水準は着実に伸長し、株主資本の増加を伴う形で財務体質の強化が進展しております。

また、当社は、前計画期間中の平均が 2.1%であった D0E を「中期経営計画 2028」の計画期間中に 2.5%まで引き上げることを目標としつつも、実際の配当においては 2024 年 12 月期から 2 期連続で D0E2.5%以上の配当を実現しており、加えて直近の配当予想においても当該水準を維持する見込みであることから、当該水準での配当の継続可能性について一定の実績および見通しを有しております。

さらに、総還元性向につきましても、本計画期間の 5 年間合計で 30%以上を目標としつつも、2024 年 12 月期から 3 期連続で自己株取得を実施し、配当を加えた 3 年間合計の総還元性向は 40%以上を実現できる見込みであり、当該水準での株主還元の継続可能性について一定の実績および見通しを有しております。

これらを踏まえ、当社は従来の目標を上回る株主還元を持続的に実現できる段階に至ったものと判断するとともに、株主の皆様への利益還元をさらに充実させるため、もう一段踏み込んだ還元強化を行うことが適切であると判断し、株主還元方針を変更することといたしました。

(2) 変更の内容

①D0E 目標の引き上げ

従来の「D0E の目標水準 2.5%」から「D0E の目標水準 3%」へ引き上げます。

②総還元性向目標の引き上げ

従来の「総還元性向 30%以上」から「総還元性向 40%以上」へ引き上げます。

(3) 変更の時期

2026 年 12 月期から適用いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の理由

当該株主還元方針の変更に伴い、2026 年 12 月期の期末配当予想を 1 株あたり 3 円増配し、15 円に修正することにいたしました。

(2) 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2026 年 2 月 10 日発表)	—	12 円 00 銭	12 円 00 銭
今回修正予想	—	15 円 00 銭	15 円 00 銭
当期実績	—		
前期実績 (2025 年 12 月期)	—	11 円 00 銭	11 円 00 銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上